

第三次中国省長代表団
日本滞在記録

平成2年（1990年）10月11日～21日

全国知事会

写真あり

(十月十二日)

鈴木俊一東京都知事との会見
(全国知事会会長)

写真あり

(十月十五日)

坂本三十次内閣官房長官との会見

写真あり

(十月十五日)

奥田敬和自治大臣との会見

(十月十五日)

櫻内義雄衆議院議長との会見

写真あり

写真あり

(十月十五日)

土屋義彦参議院議長との会見

写真あり

(十月十三日)

栃木県畜産試験場参観

写真あり

(十月十七日)

国分寺北部小学校(香川県) 参観

写真あり

(十月十九日)

葡萄栽培農家(岡山県) 参観

写真あり

(十月二十日)

飛火野鹿寄せ(奈良県) 見学

6 資 料	45
(1) 団員略歴	45
(2) 省レベル行政区画地図	47
(3) 関係自治区、省の概要	48
(4) 全国知事会と中日友好協会との往復文書 4 点	54

1. 第三次中国省長代表団名簿

写真あり

写真あり

写真あり

① 団長 白 立 忱
Bai Lichen
寧夏回族自治区主席
49 歳

② 団員 保 永 康
Bao Yongkang
雲南省副省長
56 歳

③ 団員 卞 耀 武
Bian Yaowu
青海省副省長
54 歳

写真あり

写真あり

写真あり

④ 団員 張 樹 魁
Zhang Shukui
貴州省副省長
54 歳

⑤ 団員 吳 亦 俠
Wu Yixia
吉林省副省長
47 歳

⑥ 秘書長 李 鉄 民
Li Tiemin
中日友好協会副秘書長
45 歳

写真あり

写真あり

⑦ 随員 張 利 利
Zhang Lili
中日友好協会理事・都市交流部副部長
38 歳

⑧ 随員 馬 玉 華
Ma Yuhua
中日友好協会職員
25 歳

2. 第三次中国省長代表団滞在日程

(1) 総括

日 (曜)	概 要	宿 泊
平成2年 10月11日 (木)	15:14 成田着 (CA 929) 晩 事務総長招待 中国大使館	東 京 (ホテルニューオータニ)
12日 (金)	午前 全国知事会、東京都庁 昼 都知事招待 午後 地域活性化センター、自治大学校、 東京タワー	東 京 (ホテルニューオータニ)
13日 (土)	10:20 上野発 (やまびこ 105) 11:07 宇都宮着 午後 栃木県視察、栃木県知事会見	栃 木 (宇都宮グランドホテル)
14日 (日)	午前 栃木県視察 { 14:33 下今市発 (きぬ 120) 16:12 浅草着 浅草見物	東 京 (ホテルニューオータニ)
15日 (月)	午前 築地市場、自治省 午後 参議院、衆議院議長公邸、総理官邸	東 京 (ホテルニューオータニ)
16日 (火)	13:20 羽田発 (JAS 393) 14:33 高松着 香川県知事会見、香川県視察	香 川 (高松国際ホテル)
17日 (水)	香川県視察	香 川 (高松国際ホテル)
18日 (木)	9:27 高松発 (マリンライナー14) 10:23 岡山着 岡山県知事会見、岡山県視察	岡 山 (岡山国際ホテル)
19日 (金)	午前 岡山県視察 14:03 岡山発 (ひかり 116) 15:20 京都着 15:30 京都発 (近鉄) 16:02 近鉄奈良着、奈良県知事会見	奈 良 (奈良ホテル)
20日 (土)	午前 奈良県視察、午後バスにて奈良から大阪へ 大阪府知事会見	大 阪 (ロイヤルホテル)
21日 (日)	午前 大阪府視察 15:44 大阪発 (CA 922)	

(2) 日 別

10 月 11 日 (木)

(東京都)

時刻	行 事
15 : 14	新東京国際空港 (成田) 着 (CA 929 便)
16 : 00~	砂子田隆・全国知事会事務総長歓迎挨拶
16 : 16	その他出迎者 : 小林渉外部長、許金平・中国大使館二等書記官ほか (北ウイング 1 階 8・9 号室)
16 : 24	空港発 (リムジンバス)
18 : 18	ホテルニューオータニ着
18 : 52	ホテル発 (リムジンバス)
19 : 05~	砂子田全国知事会事務総長主催歓迎晩餐会 (吉祥赤坂店、和食)
21 : 08	主な同席者 : 許金平二等書記官、矢野調査一部長、小林渉外部長 (通訳 : 劉傑氏) (ハイヤー、タクシーにて大使館へ)
21 : 20~	中国大使館訪問
21 : 58	楊振亜大使夫妻らと会見 (ハイヤー、マイクロバス (大使館) にてホテルへ)
22 : 10	ホテルニューオータニ帰着 ホテルニューオータニ泊

10月12日（金）

（東京都）

時刻	行	事
9:00	朝食（ホテル本階ロビー階「アゼリア」）	
9:45	ホテルニューオータニ発（バス）	
9:58～ 10:37	全国知事会訪問 砂子田事務総長と会見 （都道府県会館本館3階「知事室」） 主な同席者：許金平・二等書記官、峯島総務、矢野調査第一、小林渉外各部長 （通訳：馬桂）	
10:50～ 11:20	東京都庁訪問 鈴木俊一東京都知事（全国知事会会長）表敬 （第一庁舎2階、知事特別応接室） 主な同席者：国安正昭外務長、小川靖郎国際部長、許金平二等書記官、 砂子田知事会事務総長（通訳：高橋ゆかり）	
11:25～ 12:24	秋葉原電気街訪問	
13:00～ 14:10	鈴木東京都知事主催歓迎昼食会 （帝国ホテル、インペリアルタワー地下1階「北京」） 出席者：国安外務長、佐伯外事課長、楊振亜大使、許金平書記官、砂子田事務 総長、小林渉外部長（通訳：高橋ゆかり、馬桂）	
14:35～ 15:30	財団法人「地域活性化センター」（アークヒルズ17階）訪問 説明：山本成美・副理事長 許金平書記官同席（通訳：馬桂）	
15:55～ 16:54	自治大学校訪問 挨拶：小島重喜校長 説明：井川 博研究部長（太田和紀副校長、間島正秀教務部長、今福 應庶 務課長並びに許金平書記官出席）（通訳：馬桂）	
17:12～ 18:04	東京タワー参観 （ろう人形館も見学）	
18:38～ 19:55	夕食（美々卯赤坂店、うどんすき） 同席者：小林渉外部長ら （夕食後、徒歩でホテルへ）	
20:13	ホテルニューオータニ着	ホテルニューオータニ泊

10月13日(土)

(東京都・栃木県)

時刻	行 事
8:30	朝食(ホテル本館ロビー階「アゼリア」)
9:15	ホテルニューオータニ発(徒歩)(途中、赤坂カメラ店に立ち寄る) 赤坂見附・新橋間 地下鉄銀座線 新橋・上野間 JR 山手線 (上野駅駅長室で小憩)
10:20	上野駅発(新幹線やまびこ105号)
11:07	宇都宮駅着 出迎え: 福田守孝県民生活部長、岩崎 修国際交流課長ら
11:10	同駅発(バス)
11:21~ 13:00	昼食(「雅秀殿」2階ゲストルーム、中華料理) 栃木県民生活部長、岩崎国際交流課長ら同席
13:40~ 15:10	栃木県畜産試験場参観 説明・案内: 埴 信夫試験場長ほか
15:20	同所発(バス)
16:15	宇都宮グランドホテル着、小憩
17:30~ 18:00	渡邊文雄栃木県知事表敬、懇談 (宇都宮グランドホテル2階「若竹」) 主な同席者: 田島一郎副知事、楡木良裕農務部長、大関武彦県民生活部次長、 高橋武紀秘書課長、岩崎国際交流課長ら (通訳: 林玉清)
18:00~ 20:00	渡邊栃木県知事主催歓迎晩餐会 (宇都宮グランドホテル2階「寿の間」、和食) 主な出席者: 田島副知事、奥田義雄総務部長、楡木農務部長、大関県民生活部 次長、推津弘之栃木県国際交流協会理事長、福嶋寿克栃木県日中 友好協会副会長、松本 勲栃木県三和酪農業協同組合組合長、 高橋県秘書課長、岩崎国際交流課長 (通訳: 林玉清)
	宇都宮グランドホテル泊

10月14日（日）

（栃木県・東京都）

時刻	行 事
8：00	朝食（1階「シャモニー」〔和食〕）
8：40	宇都宮グランドホテル発（バス） 本間県民生活部次長、高橋秘書課長、岩崎国際交流課長ら同乗
9：40～ 12：00	日光東照宮参観 案内・説明：柳田二郎・権禰宜
12：00～ 13：30	昼食 日光市内（「堯心亭」、懐石料理） 同席者：本間次長、高橋課長、岩崎課長ら
14：33	下今市駅発（きぬ120号） 見送り：本間次長、高橋課長、岩崎課長ら
16：12	浅草駅着 柳田知事会渉外部副部長ら出迎え 徒歩にて浅草見物 浅草仲見世を経て浅草寺本堂参観（16：45～17：05） 説明：網野義紘浅草寺金蔵院住職
17：10	浅草発（タクシー）
17：27～ 18：04	京和免税店（浅草橋）にてショッピング
18：34	ホテルニューオータニ着、小憩
19：32～ 20：24	夕食（ホテルニューオータニ本館17階 「ブルースカイラウンジ」中華バイキング） 同席者：小林渉外部長ら
	ホテルニューオータニ泊

10月15日(月)

(東京都)

時刻	行 事
5:05	ホテルニューオータニ発(タクシー)
5:20	東京都中央卸売市場築地市場着
5:27~ 7:31	同市場参観 説明案内:大野俊廣築地市場副場長ら
7:40	市場前発(タクシー)
7:52	ホテル帰着
8:30~	朝食(ホテル本館ロビー階「アゼリア」)
9:12	ホテル発(バス)
9:33~ 10:00	東京都立日比谷高等学校参観 挨拶:福田満雄校長 説明案内:岩沢邦雄教頭
10:20~ 11:00	自治省訪問 奥田敬和自治大臣表敬(2階大臣室) 同席者:大石利雄秘書官、韓秋芳中国大使館参事官、砂子田事務総長ほか (通訳:劉傑)
11:10~ 11:40	憲政記念館参観
12:00~ 13:08	昼食(四川飯店赤坂店5階) 同席者:小林涉外部長、許金平書記官ら
13:15~ 13:50	参議院訪問 土屋義彦参議院議長表敬(13:24~13:48議長応接室) 同席者:佐伯英明事務総長、楊振亜中国大使、砂子田事務総長 (通訳:劉傑)
13:55~ 14:24	衆議院議長公邸訪問 櫻内義雄衆議院議長表敬(14:00~14:22) 同席者:鈴木忠涉外部副部長、楊振亜大使、砂子田事務総長 (通訳:劉傑)
14:45~ 15:04	内閣総理大臣官邸訪問 坂本三十次内閣官房長官表敬 同席者:塩口哲朗秘書官、宮本雄二外務省中国課長、若山喬一中国課補佐(通訳) 韓秋芳参事官、砂子田事務総長
15:04~ 17:40	団員買物(上野 多慶屋)(バス)
15:04~ 18:20	団長買物(タクシー)
19:00~ 20:00	夕食(赤坂「長寿庵」[そばや]) 同席者:峯島総務部長、小林涉外部長ら 夕食後、徒歩にてホテルへ帰着
	ホテルニューオータニ泊

10月16日（火）

（東京都・香川県）

時刻	行 事
8：40	朝食（本館ロビー階「アゼリア」）
10：23	ホテルニューオータニ発（リムジンバス）
11：51～ 12：20	軽食（羽田東急ホテル1階 コーヒーハウス「バルーン」）
12：36	JAS VIP ルーム着、小憩
13：20	東京国際空港（羽田）発（JAS 393） 韓秋芳参事官、許金平二等書記官ら見送り
14：33	高松空港着 荻野清士副知事、松本昭雄自治研修所長、山崎敏秋国際交流課長ら出迎え 空港で小憩
15：00	高松空港発（議会バス）
15：25～ 16：13	香川県庁訪問 平井城一香川県知事表敬（15：35～16：06 知事第2応接室） 主な同席者：荻野副知事、奴賀直出納長、小林弘明総務部長、本多英信知事公 室長、松本自治研修所長、山崎国際交流課長 （通訳：林擘〔人民中国記者〕）
16：19～ 17：11	栗林公園参観 案内説明：久保友己栗林公園観光事務所長
17：23	高松国際ホテル着、小憩
18：36～ 20：55	平井香川県知事主催歓迎晩餐会 （高松国際ホテル 新館1階「栗林の間」） 主な出席者：稲井 正県議会議長、脇 信男高松市長、荻野副知事、奴賀出納長、 小林総務部長、本多知事公室長、松本自治研修所長、三宅暉茂県議 会総務委員長、平木春男議員（日中議員連盟代表者）、藤本哲夫議 員（日中議員連盟代表者）、山崎国際交流課長 （通訳：林擘氏ほか3名）
21：00～ 21：20	同ホテル1階「グリル」にて「讃岐うどん」を賞味（香川県招待）
	高松国際ホテル泊

10月17日（水）

（香 川 県）

時 刻	行 事
8：30	朝食（1階グリル）
9：08	高松国際ホテル発（バス）
9：34～ 10：30	（株）セシール（衣料通信販売）参観 挨拶・説明：上野昌彦専務取締役 正岡博明常務取締役 案内：三谷真実（物流本部副本部長付）
11：20～ 12：32	（バス移動中、宮脇義文県教委主幹から義務教育について説明を聞く） 国分寺北部小学校参観 説明・案内：川上保直校長 同席者：津村文男国分寺町長、岡内節嘉国分寺町教育長 児童歓迎のことば：島村佳寿美（6年生）
13：02～ 14：17	昼食（坂出市番の州 リゾートレストラン「カサ・デル・マール」 洋食、シーフードがメイン） 同席者：松本自治研修所長、山崎国際交流課長ら
14：27～ 15：16	瀬戸大橋記念館参観 案内・説明：草薙 繁記念館館長
15：38～ 16：08	与島訪問 瀬戸大橋の説明：宍倉良二本州四国連絡橋公団第二管理局総務部長
17：05	高松国際ホテル着、小憩
18：13	同上ホテル発（タクシー） 途中下車、高松市内繁華街を散策しながら夕食会場へ
18：50～ 20：03	夕食（ホテルリッチ高松別館「桃花苑」、中華） 同席者：松本自治研修所長ら
20：07～ 20：10	「ホテルリッチ高松」本館にて藤本哲夫議員に挨拶
20：18	タクシーにて高松国際ホテル帰着 高松国際ホテル泊

10月18日（木）

（香川県・岡山県）

時刻	行 事
7:40～ 8:00	朝食（2階 扇の間）
8:31	高松国際ホテル発（バス）
8:58	高松駅着、駅長室で小憩 （木村高明駅長先導、荻野副知事、山崎国際交流課長ら見送り）
9:27	高松駅発（マリンライナー14号） （坂出駅〔県内最終停止駅〕にて松本研修所長、林通訳らが別れの挨拶）
10:23	岡山駅着 （井上駅長先導、小山国際交流課長ら出迎え）
10:31	バスにて同駅発
10:40～ 11:27	岡山県庁訪問 長野士郎岡山県知事表敬（10:50～11:23知事室） 同席者：山本信一郎企画部長、岡本地域振興部長（通訳：古田和夫、李建華）
11:37～ 12:31	後楽園参観 案内説明：山本利幸岡山県後楽園事務所長
12:38～ 13:46	割烹「後楽」（和食）着、昼食（12:41～13:38） 同席者：河合 昭副知事（挨拶）、岡本地域振興部長（古田、李両通訳）
14:40～ 16:28	三菱自動車工業（株）水島自動車製作所訪問 挨拶：木村雄宗取締役所長 説明：児島学副所長
17:28	岡山国際ホテル着、小憩
18:09～ 20:14	長野岡山県知事主催歓迎晩餐会 （岡山国際ホテル4階「ジュピターの間」） 出席者：熊本睦夫県議会副議長、大藤 真岡山県日中懇話会会長、守分 勉岡山 県経済団体連合会会長、木村三菱自動車工業水島自動車製作所長、竹内 康夫岡山県教育長、山本企画部長、岡本地域振興部長 （通訳：古田、李建華ほか2名）
	岡山国際ホテル泊

10月19日（金）

（岡山県・奈良県）

時刻	行	事
9:06	岡山国際ホテル発（バス） 小山国際交流課長ら同乗	
9:53～ 10:44	ぶどう栽培農家（津下 ^{つげ} 譲氏夫妻）参観 （山陽町西中地区） 洪 ^{つげ} 啓・東備農業改良普及所赤坂支所長 佐近俊幸山陽町農協職員も同所で説明	
10:51～ 12:05	みのる産業（株）（農機具製造）参観 説明・案内：岩本昭雄常務取締役ら	
12:38～ 13:45	昼食（ホテルニューオカヤマ9階「瑞雲の間」、洋食） 同席者：岡本地域振興部長（挨拶）、小山国際交流課長 （通訳：古田、李建華）	
14:03	岡山駅発（新幹線ひかり116号） 岡本部長、小山課長ら見送り	
15:20	京都駅着（乗換え） 若竹 清奈良県企画文化課長ら新幹線京都駅ホームに出迎え （和田駅長先導）	
15:30	近鉄京都駅発（近畿日本鉄道）	
16:02	近鉄奈良駅着（荒堀昌巳駅長先導）	
16:10	同上発（タクシー）	
16:15	奈良ホテル着、小憩	
17:45～ 17:59	交歓会 （奈良ホテル「竹の間」） 出席者：上田繁潔知事、柿本善也副知事、南出七男出納長、中本克美教育長、 木岡源次総務部長、松本 弘県日中友好協会会長、梶川度二県日中友好 協会副会長、北岡四郎国際課長、若竹企画文化課長 （通訳：菅谷文則樞原考古学研究所課長）	
18:00～ 19:50	上田繁潔奈良県知事主催歓迎晩餐会 （奈良ホテル「菊の間」） 主な出席者：交歓会出席者と同じ	
		奈良ホテル泊

10月20日（土）

（奈良県・大阪府）

時刻	行 事
8:15	朝食「茶がゆ」(1階メインダイニング)
9:00	奈良ホテル発(バス) (若竹企画文化課長、高偉民通訳ら同乗)
9:10～ 9:30	飛火野鹿寄せ見学 ホルンで鹿寄せ：白尾凱正「奈良の鹿愛護会」鹿守
9:40～ 10:25	東大寺参観 案内説明：守屋弘齋大仏殿主任
10:35～ 11:00	奈良県庁訪問 屋上より奈良の山々、町並みを展望 5階特別応接室にて小憩
11:20～ 12:10	唐招提寺参観 案内説明：久保良輝師
12:21～ 12:46	「ベター・ライフ・ホーム・センター」(スーパーマーケット)で買物
12:48～ 13:52	昼食(奈良パークホテル「大和の間」) 同席者：若竹企画文化課長ら
14:22～ 15:00	高山茶筌製作工程参観(谷村丹後氏宅)
15:10～ 15:56	竹林園訪問、茶道実演(奥田アイ先生ほか4名)
17:15	ロイヤルホテル(大阪)着 (ここで若竹企画文化課長ら奈良県職員とお別れ、) 砂子田知事会事務総長出迎え
18:00～ 19:30	岸昌大阪府知事主催歓迎晩餐会(ロイヤルホテル2階) (アペリティフ「ゴールデンルーム」、晩餐会「牡丹の間」) 主な出席者：谷川秀善企画調整部長、大藤芳則理事、提下広次知事公室次長、 漆原八十一総務課長、野上紀夫国際交流課長、堺 啓甫国際交流 課参事、千 昌奎在大阪総領事、王世真領事、孫平領事、 砂子田事務総長、小林渉外部長 (通訳：坂本松治ほか2名)
20:00～ 21:00	大阪市内散策 ロイヤルホテル泊

10月21日(日)

(大阪府)

時刻	行 事
8:30	朝食(地下1階 北京料理「王府」(ワンフー))
9:35	ロイヤルホテル発(バス) (友成重男府総務課長代理、平井久仁子通訳ら同乗)
9:55~	(株)ダイエー京橋店参観、買物
11:20	挨拶:長田公一支配人(店長) 説明:合田正美副支配人
11:42~	中国省長代表団答礼宴(大阪キャッスルホテル3階「錦城閣」中華)
13:30	主な出席者:砂子田事務総長、小林渉外部長、王世真在大阪領事、友成重男大阪府総務課長代理
14:10	大阪国際空港(伊丹)着 搭乗手続き 「ラウンジ大阪」にて砂子田総長歓送挨拶 小林渉外部長、友成府総務課長代理ら見送り
15:44	同空港発(CA 922便)北京へ

付) 第三次中国省長代表団地方視察同行者

訪問府県	月 日 (曜) [宿舎]	同 行 者 職 氏 名
栃 木 県	10月13日(土) ～14日(日) 〔宿舎〕 宇都宮グランドホテル (1泊)	全国知事会渉外部長 小 林 宏 之 同 副参事 金 岡 和 男
香 川 県	10月16日(火) ～18日(木) 〔宿舎〕 高松国際ホテル (2泊)	全国知事会渉外部長 小 林 宏 之 同 副部長 柳 田 躬 嗣
岡 山 県	10月18日(木) ～19日(金) 〔宿舎〕 岡山国際ホテル (1泊)	全国知事会渉外部長 小 林 宏 之 同 副部長 柳 田 躬 嗣
奈 良 県	10月19日(金) ～20日(土) 〔宿舎〕 奈良ホテル (1泊)	全国知事会渉外部長 小 林 宏 之 同 副参事 金 岡 和 男
大 阪 府	10月20日(土) ～21日(日) 〔宿舎〕 ロイヤルホテル(大阪) (1泊)	全国知事会事務総長 砂子田 隆 同 渉外部長 小 林 宏 之 同 副参事 金 岡 和 男

3 要人との会見要旨

(1) 櫻内義雄衆議院議長との会見

10月15日(月)14:00～14:22 衆議院議長公邸

主な同席者：鈴木 忠衆議院渉外部副部長

楊振亜在日中国大使

砂子田 隆全国知事会事務総長

(通訳：劉傑氏)

白 団 長 明日から香川、岡山、奈良、大阪を歴訪することになっている。東京滞在は今日で終りだ。

櫻内議長 たまには、うるさい所も見た方がよい。秋葉原の電気街へは行かれたか。

白 団 長 1か所だけ訪問した。今回のスケジュールはすばらしい。うまく組んで下さっている。我々の気持は、できるだけ沢山のものを見学したい、ということだ。

櫻内議長 東京都の新庁舎はご覧になったか。

(「まだ見ていない」との白団長の答に対してさらに) 私もまだあのノッポビルは見ていない。新庁舎のある新宿は、大変雑踏している所だ。

日本でいま頭が痛いものの一つは、先般の法務大臣の失言だ。アメリカからさんざん怒られた。「皆が怒っている」と。政治の世界では、うっかり発した言葉が大きな波紋を呼ぶことがままあり、気を付けなければならない、と痛感している。

ところで、中国の知事さん方は住民の投票で決まるのか。

白 団 長 中国では、人民代表大会で省長、副省長を選出する。住民の直接選挙で選ばれるのではない。そして任期は1期5年である。また、人民代表大会の常務委員会は政府の仕事を監督している。

櫻内議長 政治的なことは慎重にせねばならぬ、と思う。ちょっとしくじると

選挙での票数が減る。

この間私は万里委員長がアジア大会名誉会長をしておられた時に訪中して2回万里先生にお会いした（1回は釣魚台で）。大変恐縮している。今度は万里氏を日本にお迎えする番だ、ということでご招待申し上げているが、万里氏も大変忙しくて、まだ来日が実現していない。

白 団 長 櫻内議長は中国の古い友人だ。中日両国の友好のために、先生は大きな貢献をされた。万里先生も必ず日本へいらっしゃると信ずる。私からも中日友好協会の李鉄民氏を通じ、今のお話を先方へお伝えしておく。

櫻内議長 私も日本では貧乏性で、北京までは何度も参ったが、いつも北京だけで帰国してしまい、地方までは足を運んでいない。

白 団 長 我々第三次中国省庁代表団のメンバーの五つの省（寧夏回族自治区、雲南省、青海省、貴州省、吉林省）には是非お出で願いたい。

（土産品として寧夏回族自治区で作った刺しゅう品を贈る。）

(2) 土屋義彦参議院議長との会見

10月15日（月）13：24～13：48 議長応接室

主な同席者：佐伯英明参議院事務総長

楊振亜在日中国大使

砂子田隆全国知事会事務総長

（通訳：劉傑氏）

土屋議長 中国の要路の方々が日本との友好関係発展のためにつくしておられる涙ぐましいご努力に感謝している。最近中国の皆さんがよく私のところへ訪問されるがこのことを嬉しく思っている。

過去において我が国が貴国に多大のご迷惑をおかけしたことを改めて深くおわびしたい。田中内閣のとき田中総理が大平外相を伴って訪中し日中国交正常化を遂げて以来、両国間の人的交流、経済交流は非常に発展してきた。

何といっても日中両国はお隣同士であり、足りないところを互いに補い合って、世界の平和のために努力して行きたい。

いま地方の時代といわれるが、地域の発展なくして国家の発展もない。どうかご滞在中日本をよくご覧頂きたい。

本日は楊大使閣下にも、ご多忙の中お出まし頂き、ありがたい。能力、体力もすぐれ、人格も立派であり、政府からも尊敬されている。

私ごとだが、元総理の大平正芳の3番目の息子と私の姪とが結婚している。

先般北京で開かれたアジア競技大会で中国が成功をおさめたことをお祝い申し上げたい。お国とご縁の深い伊東正義氏は日本の政界で清潔で立派な政治家だが、中国については非常に熱心な方だ。この伊東さんから、我が国からそれなりの人を派遣せねばならぬ、との意向を聞いた。私からも、じきじきに総理に話したところである。

重ねて皆様が、国権の最高機関の一院に来られたことを感謝する。

同席している佐伯事務総長をご紹介する。参議院事務総長は各省の事務次官よりランクが上であり、国务大臣クラスである。この人にへそを曲げられると国会運営ができなくなる。

白 団 長 日本にはすでに4日間滞在している。我々は日本の全国知事会の周到なご配慮により、これまで大変愉快に過ごしてきた。明日から、香川、岡山、奈良、大阪に行く。今日までは、スケジュールは多いが非常な勉強になった。寝る時間は1日5時間しかない。そして仕事の時間は長い。

中国の第3回代表団は五つの自治区・省の主席と副省長（寧夏回族自治区、雲南省、青海省、貴州省、吉林省）及び中日友好協会の副秘書長らからなっている。この五つの自治区・省はいずれも内陸部の地域にあり、辺ぴな所だ。今回は中国は辺ぴな所の省長を日本へ派遣した。土屋議長の選挙区埼玉県の友好省である山西省は、我々の省より少し発達している。今

後、我々の省と日本との交流が頻繁になることを希望している。

中国はいま、対外開放政策をとっている。この政策は、今後変わるものではない。開放政策により中国は大きく変化しつつある。日本に学ぶべきことが沢山ある。中国は希望に満ちた国である。鄧小平も将来の青写真を示しており、これから 10 年以上経つと、中国は日本に追いつくとされる。そのためにも、我々は中日両国の友好を促進せねばならないと思っている。

土屋議長、お忙しい中をお会い下さり感謝する。議長閣下の素晴らしいご挨拶を伺い感謝にたえない。

土屋議長 日本は中国に大きな迷惑をかけたのに、中国は日本の残留孤児を育ててくれた。日本としては中国は別あつかいにせねばならぬと思っている。

白 団 長 中国と日本との交流の歴史は長い。実際、中国にとって日本ほど友好的な国はない。日本の伝統的なもの、古代文化をみると、中日間の交流が昔から密接であったことがわかる。今後両国の努力によって友好関係が促進されることを期待する。

(土産品として、貴州省で作ったものを議長に手交。貴州省には 12 の少数民族がいる、等と説明)

4 訪問都府県知事等のスピーチ等

(1) 鈴木俊一東京都知事

東京都知事主催歓迎昼食会における鈴木知事挨拶

10月12日(金) 13:00~14:10

帝国ホテル内「北京」

尊敬する白立^{はくりつしん}先生はじめ第三次中国省長代表団の皆様、尊敬する楊^{ようしんあ}振亜駐日中華人民共和国大使閣下、そしてご臨席の友人の皆様、本日はようこそおいでくださいました。皆様方を心から歓迎申し上げます。

私自身も、1986年5月に、第3次全国知事会訪中代表団の団長として貴国を訪問し、皆様から熱烈な歓迎をいただきました。その上貴重な見聞を得る機会にも恵まれ、大変有意義な時を過ごさせていただきました。

こうした交流により双方が理解を深め、日中の友好関係の発展に寄与できることはまことに喜ばしいことであり、関係者のご尽力に対し、深く敬意を表します。

私ども東京都におきましては、北京市と友好都市提携を結んでから昨年ちょうど10周年を迎えましたが、今までの積み重ねが大きく実り、良き未来を築いてゆくための確かな礎となっておりますことを大変嬉しく思っております。

今、貴国では、第11回アジア競技大会で大成功を収められた喜びで満ち溢れているのではないかと存じます。私も開会式にお招きいただきましたが、中国の躍進ぶりがことのほか印象的でした。

明日から皆様方は、わが国の主要な地方都市を訪問されると伺っております。各地方の特色ある行政をつぶさに視察されるとともに、日本の美しい秋も存分に楽しんでいただければ幸いです。

それでは、中国の友人各位のご健康と、日中の友好関係の一層の発展を
祈念いたしまして、乾杯をいたしたいと存じます。

乾杯！

謝謝！

(2) 渡邊文雄栃木県知事

知事表敬・懇談における渡邊栃木県知事挨拶

10月13日（土）17：30～18：00

宇都宮グランドホテル「若竹」

白立^{はくりつしん}先生を団長とする中国省長代表団の皆様、お忙しい日程にもかかわらず、栃木県においでいただきありがとうございます。心から歓迎いたします。

私も1986年5月に、全国知事会訪中代表団の一員として中国におじゃまさせていただきました。その際、北京をはじめ西安、杭州、蘇州、上海において要人の方々とお会いしたほか、歴史的、文化的に大変意義深い施設等を見させていただき、感銘を受けてきたところでございます。

皆様の本県滞在中、本日、すでに栃木県畜産試験場をご覧いただきました。また、明日は世界的に有名な日光東照宮をご案内することとなっております。

栃木県は首都東京からわずか100Kmという、大変有利な条件にあり、農業と工業などの産業がバランス良く発展しているとともに、緑が多く大変自然に恵まれたところでございます。

この度の皆様の本県滞在は、2日間という短い期間ではありますが、本県の実情の一端をご理解いただければ幸に存じます。

この度の皆様の来日が、所期の目的を達成されますとともに、今後、ます

ます両国の交流が実りあるものとなりますことをご祈念いたします。

白団長挨拶

栃木県知事主催歓迎晩餐会

10月13日（土）18：00～20：00

宇都宮グランドホテル「寿の間」

今日は東京から来ました。3つの目的があつて栃木を訪問いたしました。

3つの目的とは、

1. 中国に深い友情をお持ちの知事先生にお会いしたい。1986年5月に中国に来られ友好を深められました先生にお会いしたかったからでございます。
2. 経済発展のすばらしい県と伺っております。自分の目で見て、聴いて、参考になると思い、栃木県にお伺いいたしました。
3. 日光東照宮は世界的に有名です。東京都の鈴木知事先生にお会いしたら、日光東照宮を見ないと日本に来たかいないと言われ、栃木県にまいりました。

宇都宮駅での熱烈な歓迎をありがとうございました。栃木県庁の皆様の心のこもったおもてなしに感動いたしました。

もともと、土曜日（第二土曜日で休日）で、お休みの所、宇都宮駅まで熱烈歓迎を受け感謝いたしております。そして、今晚お忙しいにもかかわらず、お会いする機会を作っていただきありがとうございます。

栃木県滞在は短いですが、勉強して帰りたいと思います。また、日本との友好を更に深めて行くことを希望いたします。

今回代表団の中では、5地区の代表が来ています。この5つの省を合計すると150万Km²の面積で、日本の4倍の面積があります。人口では1億人ございます。

この5省は、中国の沿海地方と違い日本との交流が少ない。中日友好を深

めるためにも、中国沿海地方と日本との友好関係を基礎に、中国内陸部も中日友好を深めたいと思います。

(3) 平井城—香川県知事

表敬訪問における平井知事挨拶

10月16日（火）15：35～16：06

県庁知事第2応接室

我が香川県は中国とは長いご縁がある。今から約1,200年前、香川県出身の空海が唐へ留学し、帰国して仏教の布教につとめた。また、日中関係のため尽すいた大平元総理、成田元社会党委員長も香川県の出身である。8年前に西安市のご協力を得て西安に空海の記念碑を建てた。

中国と比べて日本は狭いが、その日本で一番面積の小さいのがこの香川県だ。しかし、本県は古くから経済、文化の発展した地域である。

新しい空港も昨年でき上がったし、中国地方と四国とをまたぐ瀬戸大橋も2年前に開通した。その時開催した記念博覧会のため、西安から貴重な文物をお借りした。また中国の歌舞団も見えて雰囲気をもり上げた。

白団長答礼挨拶

尊敬する平井知事さん、我々第3回中国省長代表団一同は、今日でもう6日間日本にいる。日本に来て以来、行く先々で熱烈な歓迎を受けた。香川県でも、東京より暖い熱烈歓迎を頂いた。飛行場にまで荻野副知事はじめ県の幹部の皆様がお出迎え下さったことに感謝する。荷物をおろさぬうちにお会い下さったことにも感謝する。

香川県の皆様が中国に対して深い友情を抱いておられることを感じた。この団の随員張利利は半年間香川県に滞在したが、彼女は日本で一番良い県は香川県だと申ししていた。

中日友好の歴史の中でも、香川県は友好の歴史が長い。近代においても、香川県出身の大平、成田のお二人は中日友好のために大きな貢献をされた。

平井知事は、ご挨拶の中で香川県の経済建設についてお話になった。そのすばらしい業績は、平井知事はじめ県のリーダーの方々のご努力の結果である。それは、いつまでも歴史に残ると思う。香川県の経済は大いに発展している。我々は沢山のことを学んで中国に帰りたと思う。

第 3 回省長代表団は五つの省の責任者を含んでいる。私は寧夏回族自治区の主席である。寧夏は比較的小さい省で面積は 6 万 4,000 平方キロ、人口は 460 万である。しかし、石炭と鉄鋼の生産はトップを占める。また中国第 2 の大河、黄河は、寧夏の区域内 400 キロを通っている。食糧の産地で 30 万ヘクタールの耕地を持つ。ここは、果物、畜産など、今後の発展の見込みが明るい地域である。

そのほかの省について言えば、吉林省は中国の食糧の倉庫である。同省にはまた大規模なトラック製造工場がある。青海省は土地が広く、中国で 4 番目、72 万平方キロで人口は 450 万、地下資源が豊富である。雲南省は「三つの王国」と呼ばれている。つまり、動物の王国、植物の王国、非鉄金属の王国であるといわれる。貴州省は茅台酒の産地として有名で、少数民族が多い。華やかな文化を持ち、電子工業も発達している。

率直に言って、これら五つの省は比較的立ち遅れている。我々は、中国の辺ぴな所と日本との友好交流が進むことを希望している。これらの地方に住んでいれば、生きて行けないということはない。資源が豊富にあり、資源を開発することによって地域を発展させることができる。こういう地域は、将来の発展の希望が明るいと思う。どうか、機会があれば、香川県の皆様が我々の地方にお出でになるよう期待する。

五つの省を合わせると、面積は日本全体の 4 倍、人口は 1 億人余りになる。

(団より土産品が贈呈される。〔雲南省産の大理石の文鎮、吉林省産の花粉で作った栄養剤〔長寿の薬〕その他〕。)

歓迎夕食懇談会における平井香川県知事挨拶

10月16日(火) 18:36~20:55

高松国際ホテル「栗林の間」

本日ここに、中華人民共和国寧夏回族自治区白立忱閣下を団長とする中国省長代表団の諸先生方をお迎えし、歓迎夕食懇談会を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

白立忱閣下をはじめ、中国省長代表団の皆様方におかれましては、日本国の知事との相互交流のため来日され、地方の実情視察として、秋の讃岐路へようこそお運びいただき、心から歓迎申し上げる次第であります。

私も、4年前の副知事時代に、第3次全国知事会訪中代表団の一員として貴国を訪問いたしました。その節には、心からなる歓迎を賜り、格別のお心遣いをいただいたところであります。

さて、中華人民共和国と日本国とは、一衣帯水の隣国でありまして、その交易と文化交流は、2000年を超える歴史を綴ってまいりました。中でも、貴国と香川県は日中交流の偉大な先駆者である弘法大師・空海の入唐留学以来、深い交流の歴史を有しております。県人が今なお敬慕してやまない故大平首相や日本社会党の故成田委員長も、貴国との友好関係を取りわけ大切にされておりました。

近くは、1982年に陝西省西安市のご協力を賜りまして、青龍寺跡に、空海顕彰碑が建立され、1988年には瀬戸大橋の完成を記念して開催いたしました博覧会に、西安市から貴重な文物の出展や歌舞団の公演をいただいたところであります。

特に、昨年4月15日には、中華人民共和国国務院総理 李鵬閣下ご一行が、

公賓として瀬戸大橋のご視察にご来県賜りましたことは、私たちの記憶に新しいところでもあります。

このような歴史を背景に、現在、海外技術研修員の受入れをはじめ、姉妹都市提携に向けての動きなど、行政、文化、学術研究など幅広い分野で貴国と本県との交流事業が活発に行われ、友好の絆が多くの中四国随一の規模を有する新高松空港が開港いたしました。さらに、高速自動車道の建設も順調に進展するなど、本県は今、21世紀に向けて大きく飛躍発展を遂げようとしています。こうした高速交通体系の着実な整備進展に伴いまして、外国との人的交流はもとより、産業、経済、文化などあらゆる分野にわたる交流が一段と活発化してまいっております。

さて、本県におきましては、一昨年春に、県民の長年にわたる悲願でありました、明日皆様をご覧になる予定の瀬戸大橋が開通し、昨年12月には、本日、皆様方がお着きになられた、中四国随一の規模を有する新高松空港が開港いたしました。さらに、高速自動車道の建設も順調に進展するなど、本県は今、21世紀に向けて大きく飛躍発展を遂げようとしています。こうした高速交通体系の着実な整備進展に伴いまして、外国との人的交流はもとより、産業、経済、文化などあらゆる分野にわたる交流が一段と活発化してまいっております。

本県におきましても、このような交流を一層促進するため、陝西省咸陽市の新西安空港と新高松空港との友好空港縁組の実現にむけ鋭意取り組んでいるところであります。

このような時に当たり、この度の中国省長団のご来県を契機といたしまして、皆様方の自治区並びに各省と本県との交流の輪がさらに大きく広がり、ひいては、日中両国の友好親善と相互理解がますます深まりますことを、私ども一同心から期待いたしているところであります。

短い期間ではありますが、皆様方におかれましては、本県の産業、経済、文化さらには県民生活などをつぶさにご視察いただきまして、心に残る良き思い出をたくさん作られますよう、心からお祈り申し上げます。次第であります。

終わりに臨み、今回の中国省長団のご来県に当たり、格別のご尽力を賜りました全国知事会の方々に深く感謝いたしますとともに、中華人民共和国並

びに中国省長団の皆様の自治区・各省のますますのご繁栄と、白立忱閣下をはじめご参会の皆様、なお一層のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げまして、歓迎のご挨拶といたします。

白団長答礼挨拶

尊敬する知事、議長、尊敬する高松市長

只今平井知事から熱烈なご挨拶を頂いた。中日両国は一衣帯水の間柄であり、友好関係の歴史は悠久なものである。1949年の新中国成立以来、毛沢東、周恩来の両指導者は中日の友好への橋渡しをされた。これまで両国の諸先輩の大きな努力によって中日友好の基礎が固められた。今、中国の最高指導部は、江沢民、李鵬をはじめとして、中日関係をきわめて重視している。

我々第3回省長代表団のメンバーは、五つの辺ぴな省からやってきた。今までこういう省と日本の地方自治体との交流は少なかった。概して中日交流については多くの仕事はなされたけれども、我々に関していえば、まだまだ不十分である。我々は、中国の地方政府と日本の自治体との交流をさらに深めたい所存である。香川県に対しても、このことについて協力して頂くよう期待したい。

今回訪日した団員の五つの省は、辺ぴな所にあるが資源は豊富だ。今後、中国の省と日本の自治体との交流が発展するにつれて、経済も発展して行くことと思う。

このたび香川県に参って、県知事、高松市長はじめ皆様から暖い歓迎を頂き、深い感銘を覚えた。県の栗林公園を参観したが、非常に美しい風景だと感じた。さすが日本の代表的な庭園であると思った。香川県と高松市の人々は、みな勤勉ですぐれた市民だと思う。ご当地には2日間しかいないが、沢山のことを学びとれることを期待している。

中国の地方政府と日本の自治体との交流をすすめることにより、さらに経

済を発展させたい。香川県知事、議長、高松市長のご健康をお祈りする。そして香川県の繁栄をお祈りする。中日関係を促進し、子々孫々に至るまで仲良くやって行きたい。

(4) 長野士郎岡山県知事

表敬訪問における長野知事挨拶

10月18日(木) 10:50～11:23

知事室

岡山県知事の長野でございます。

この度は、第三次中国省長代表団、白立忱閣下ご一行の皆様を、岡山へお迎えすることとなり、心から歓迎申し上げます。

当地、岡山は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、加えて中四国における交通の要衝でもあり、5世紀頃には、吉備の国として栄え、8世紀の遣唐使「吉備眞備公」、15世紀の水墨画家「雪舟」、最近では、日中友好親善に特に熱意を傾けられ、昨年亡くなられました岡崎嘉平太先生が岡山の出身でございます。貴国と関係の深い方々が多く出ております。

今日では、先程、通られました瀬戸大橋をはじめといたします広域高速交通網の整備に伴い、世界に向けて、新たな交流と発展の可能性を飛躍的に高め、「活力ある成熟社会、おかやま」をめざしているところであります。

本日は、水島工業地帯にあります自動車製作工場を、また、明日は、本県の特産でありますマスクットのぶどう産地と農機具メーカーをご視察いただく予定にしております。

最後になりましたが、日本と中国との友好交流発展のため、ご活躍されますことを心から祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

岡山県知事主催歓迎会における長野知事挨拶

10月18日（木）18：09～20：14

岡山国際ホテル「ジュピターの間」

本日は、皆様、お疲れのことと存じます。

三菱自動車工業水島製作所のご視察は、いかがでございましたでしょうか。

あの水島工業地帯は、自動車工業、製鉄、石油コンビナートなどを中心に、多数の企業が操業しておりまして、現代日本を支える重要な役割を果たしております。

また、一面、岡山は、農業県でもございまして、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、うまい米、マスカットぶどう、桃に代表される果物、瀬戸内海の豊富な魚介類など、農業、漁業も盛んでございます。

本日は、岡山で作られました飲み物、食物を中心に取り揃えましたので、どうぞごゆっくりご賞味いただき、本日のお疲れを癒していただきたいと存じます。

それでは、第三次中国省長代表団、自立忱閣下、並びにご一行の皆様のご健勝、そして、日中両国の友好親善とますますの発展を祈念いたし、乾杯をしたいと思います。

乾杯。

白団長答礼挨拶

本日、我々第3回中国省長代表団は岡山県に参り、熱烈な歓迎を受けた。今晚はまた、県知事をはじめ岡山県の各界指導者のご出席の下に盛大な宴会を催して頂き、有難く存ずる。

岡山県はまことにすばらしい県だと思う。本日は美しい後樂園を参観した後、午後三菱自動車工業の水島製作所を訪問したが、生産も管理も非常に進んでいるのに感心した。また、途中通過した石油コンビナートや鉄鋼工場も

大変発達しているのを感じた。農業生産の条件も恵まれていると思う。つまり、工業、農業ともに進んでいるのだ。

岡山県は中国と緊密な関係を持っている。長野知事から午前中伺ったお話によると、知事は中国の文学者・郭沫若と同窓生だったとのことだが、郭沫若は長く岡山にいて中日友好のため大きな役割を果たした。岡山県出身の岡崎嘉平太氏も中日友好に非常な貢献をされた。数年前中国の遼寧省に来られたとき、私は当時遼寧省の副省長をしていて同氏にお会いしたが、その人格と友好のためのご努力に深い感銘を受けた。こういうすばらしい中国の友人を岡山県が持っていることを嬉しく思う。

たしかに岡山県と中国との友好は親密なものがある。たとえば、岡山県には中国から留学生が大勢来ていて、長野知事はじめ皆様のご厄介になっている。これら中国の留学生たちは、郭沫若をモデルにして、勉学に励み、良い成績で帰国することを期待する。

今晚は、県知事、議長、経済各界の方々にお目にかかる機会に恵まれ大変嬉しい。ご主人の杯をお借りし、中日友好と岡山県の発展、並びに長野知事のご健康、そして皆様のご健康を祈って乾杯いたしたい。

(5) 上田繁潔奈良県知事

交歓会における上田奈良県知事挨拶要旨

10月19日（金）17：45～17：59

奈良ホテル「竹の間」

中華人民共和国白先生はじめ、ご一行の皆様。この度は、奈良県へようこそおいで下さいました。奈良県民を代表して歓迎申し上げます。

皆様には、全国知事会の招きにより日本各地を訪問され、日本の地方自治の実情と産業などをご視察いただき、我が奈良県へもお越しいただいたこと

は誠に光栄であります。

また本日は、私どもの催しますささやかな歓迎の宴にご出席を賜わり、感謝申し上げますとともに、どうぞごゆっくりおくつろぎいただきたいと存じます。

1988年には、貴国をはじめシルクロード沿線の国々のご協力、ご指導を得て、183日間にわたり「なら・シルクロード博」を開催し、貴国と日本の文化を広く紹介し、たいへんな好評を博しました。

また、本県教育委員会では、日中の友好と理解を深めるため、1979年より毎年教員を貴国に派遣し、訪問いたしました際には、いつも皆様方から盛大なる歓迎をいただいています。ここに併せて、そして改めて感謝申し上げます。

ご一行の日本での滞在も残りわずかとなりましたが、今日・明日の本県での滞在がお心に残る意義深いものとなりますようお祈りいたしまして、ごあいさついたします。

白団長答礼挨拶

尊敬する奈良県知事先生、尊敬するご列席の皆様

熱烈歓迎まことにありがとうございました。

確かに、今知事先生が言われましたように、第三次中国省長代表団は、そろそろ帰国することになりました。でも、訪日の高まりはまだ終わっていません。

奈良は古い都市です。中国との友好関係が非常に深い。私達が小学生の頃鑑真和上さんが中国にいて、日本に渡っていったとおしえられました。ずーっと昔の、1200年前の事でした。

近頃、奈良と中国との交流もひんばんになって来ました。そこで、第三次省長代表団のメンバーは、奈良に行ける事を心待ちにしていました。

そういう事で、訪日の高まりはまだ終わっておりません。奈良県知事先生を始め、友人の皆さん。かくも盛大なご招宴をしていただき、感謝しています。

今回の訪問を通じて、ますます交流を推進していきたい気持が強まりました。第三次中国省長代表団のメンバーは、皆辺地の知事です。この5つの省は、沿海地方と違い、日本との交流が余りありませんでした。

中日友好を深めるためにも、中国沿海地方の友好関係を基礎として、中国内陸部も、日本との友好を進め、交流していきたいと思います。

最後に、中日友好が益々深まっていくことを期待します。そして、奈良県の観光・経済が益々繁栄していくことを祈ります。

奈良県知事先生のご健康と、在席していらっしゃる友人の皆様のご健康を祝して、私のご挨拶といたします。

(6) 岸 昌 大阪府知事

大阪府知事主催歓迎晩餐会における岸知事挨拶

10月20日(土) 18:00~19:30

ロイヤルホテル「牡丹の間」

尊敬する白立忱団長をはじめ、中国省長代表団の皆様、ようこそ大阪へお越しくださいました。

日中両国の知事代表団の相互交流は、昭和49年以来6回目を迎えることができましたが、このたびは、はじめてこ来阪いただき、心から歓迎いたします。

かつての東西交易の道「シルクロード」は、貴国の山河を経て、東の海をわたり、この大阪の地に世界の文化の華をもたらしました。

私は、1980年に、先人の築かれた日中両国の友好を一層発展させたいと

願う大阪府民の期待を携えて、貴国上海市と友好関係を締結しました。早いもので、今年は記念すべき 10 周年を迎え、この間、経済、文化、都市開発、医療、環境など広範な分野にわたり、友好交流の足跡を刻むことができたことを、大変誇りに思っております。

特に、今年は、国際少年少女合唱祭への参加、高校生の大阪訪問など、若い世代を中心とする友好・親善の輪を広げることができました。

また、4 月から 9 月まで、「人間と自然の共生」をテーマとする「国際花と緑の博覧会」が開催されましたが、この博覧会には、中国庭園が出展され、博覧会終了後も存置されることになっております。

本府パビリオンの「いちょう館」では、上海ならびに江蘇省から、華麗なシルクファッションショー、世界一級のシルクの伝統工芸品や盆栽が出展され、多くの観客を魅了し、人々の心をとらえて離さないものがございました。

幸いにも、この花の万博は、世界 82 カ国・55 国際機関の参加のもと、好評を博し、成功裡に閉幕することができましたことを、厚くお礼申し上げます。

現在、大阪湾の海上では、我が国初の 24 時間空港となる「関西国際空港」の建設が着々と進められておりますが、この空港の完成は、貴国と本府の絆をさらに深めるものになることと存じます。

「アジア太平洋時代」の到来が言われる今こそ、われわれ自治体が先導して、日中両国の友好の基盤をさらに広げ、ともに世界の平和と繁栄を築き上げていこうではありませんか。

最後になりましたが、白団長をはじめ中国省長代表団の皆様のご多幸をお祈りし、私のご挨拶といたします。

白団長答礼挨拶

尊敬する岸知事先生、事務総長、来賓の皆様方、熱烈歓迎ありがとうございます。

第三次中国省長代表団は、全国知事会のお招きで来日いたしました。

本日大阪に参りまして、岸知事を始め大阪府の皆様から熱烈な歓迎を頂きまことにありがとうございました。

中日友好を願うりっぱなご挨拶をいただきまして、心から厚く御礼申し上げます。

大阪と中国との関係は、歴史的に見ても深いものがあります。大阪はここ数年の間に岸知事先生の指導のもとに大きく発展してきました。

知事さんのお話によれば、中国からたくさんの方が大阪に来ています。私たちは、大阪で良い印象を受けました。

大阪は大きく発展しています。東京の次に発展していると思います。こういう面から申し上げますと、大阪は中日友好に大きく貢献しています。

第三次中国省長代表団は、5省から来ています。これらの省は、日本との交流が大きくありません。今回の訪問を通じて、これらの省との交流を发展させていきたいと存じます。

大阪府知事、事務総長、ますます友好交流を发展させていきたいと思えます。

最後に、心から、大阪のますますのご発展を祈ります。そして、中国とのますますの友好を深められますことを祈ります。また、来賓の皆様のご健康を祈ります。

(7) 砂子田全国知事会事務総長

歓迎晩餐会における砂子田事務総長挨拶

10月11日(木) 19:05～21:08

吉祥赤坂店

尊敬する自主席。

尊敬する中国省長代表団の各副省長の皆様そして中日友好協会の皆様。本日はお疲れ様でした。

まず最初に、1988年から延び延びになっておりました第三次省長代表団のご来日が今回実現し、この様に皆様をお迎えできたことを、全国知事会といたしまして心から喜び、熱烈にご歓迎申し上げたいと存じます。

全国知事会会長であります東京都の鈴木知事は、1986年に知事会代表団の団長として中国を訪問いたしました。その時のご厚遇を何時も口にしておりまして、今回皆様方をお迎えするに当たりましては、ご満足頂けるよう、できるだけお持て成しをするようにと会長から仰せつかっております。

ただ、東京では、緊迫している中東問題等に絡み、国会が明日開会される情勢となって参りましたので、要人との面会がなかなか難しくなることを気懸りにしております。毎日、実現できるよう精一杯の努力は致しております。

しかし、ご訪問予定の地方の府県では、ご期待にお応えするよう視察その他の用意に心を砕いて、皆様のお出でを心待ちにしております。良い季節の日本をご満喫頂きまして、実り多い収穫をあげられることと思っております。併せてご滞在、ご旅行の平安をお祈り申し上げます。

私共は、中日友好協会とは大変仲良くやって参りました。知事・省長の交流事業は今回で6回になりますが、これからも長く続くことを期待いたしますとともに、今後とも互いに連携を深め、日中友好が促進されることを願っております。

白団長答礼挨拶

尊敬する砂子田先生、各部長先生。

本日北京を出発し、スムーズに日本に到着した。空港に着くと、事務総長はじめ皆様から熱烈な歓迎を賜わった。心から感謝の意を表明したい。

日本の県知事と中国の省長との交流のため、日本全国知事会は大きな仕事

をしておられる。

第3回の省長代表団は内陸地域の省長、副省長で構成されている。訪日の際、我々は北京に集まって勉強した。その際、中日友好協会と全国知事会との友好交流の歴史について聞いた。貴会のこれまでのご尽力に心から感謝する。

我々の省はいずれも中国の辺りな地域にあり、土地は広く、資源は豊富である。しかし、開発と経済発展は立ち遅れている。けれども、これら地域の発展は、比較的早いスピードで進んでいる。

今回、全国知事会のご高配により、日本の各地方を視察、見学する機会を与えられた。必ずや我々にとって大いに参考になることを信じている。

両国の国民の相互理解と関係の発展のためには、友好交流を促進することが重要であると確信する。

ここで、主人側の杯をお借りして、砂子田事務総長並びにご在席の皆さんのご歓待に、感謝の意を表したい。総長のご健康を祈る。

5 視察先の概要

(1) 自治大学校訪問

10月12日（金）15：55～16：54

1. 井川 博研究部長司会
2. 小島重喜校長挨拶（挨拶文別紙）
3. 第三次省長団紹介
4. 自治大学校幹部紹介
5. 自治大学校概要について、パンフレットを資料として井川研究部長説明
6. 白団長挨拶、質問

自治大学校小島校長先生のすばらしいご挨拶、そして、井川研究部長の詳しいご説明をいただきありがとうございました。一つの民族を発展させるには、教養が必要であり、そしてそれを高めることが大事です。

自治大学校のような幹部養成機関が中国でもできないものかと思います。

問 入学は選挙によるのか？

答 推せんです。

問 各国からの研修生の場合は？ 例えば中国の場合どうして入学できたのか。

答 各国に募集、そして各国からの推せんをいただく。ただし、枠として10数名しか入学できない。

問 研修が終了してから試験があるか。

答 論文、事例発表、レポートの提出、そしてペーパーによる試験がある。

問 研修の費用は。

答 地方公共団体の負担、一部は個人負担。

問 運営経費は。

答 施設は国費、運営費は地方公共団体からもらう。

問 掃除係は。

答 民間から雇用している。

問 成績がよいと、エリートになれるか。

答 成績により、いいわるいはない。昔は成績を本人と派遣団体の長に連絡したが、問題が生じたため、現在は本人のみに成績を通知している。

[別 紙]

中国省長代表団歓迎あいさつ

小島自治大学校長

自立忱寧夏回族自治区主席はじめ 8 名の中国省長代表団の皆様、本日はようこそ自治大学校にいらっしゃいました。

この自治大学校は、地方公共団体の中堅幹部を対象とする研修機関として昭和 28（1953）年に開講して以来今日に至るまで、約 35,000 名に及ぶ卒業生を送り出してきました。

本校の役割は、地方公共団体の幹部候補者である研修生に対して高度の研修を行い、その資質を向上させることにより、最終的には、地方公共団体の行政の民主的かつ能率的な運営を期することにあります。したがって、研修内容も、地方公共団体では実施できない高度でかつ非常に幅の広い分野にまたがるものになるように工夫しております。

自治大学校の特色は、全寮制となっていることでもあります。北から南までの全国の地方公共団体の職員が共同生活を営んでいるなかで、研修生同士が相互に学びあうことにより、人格を高め合いかつ親睦を深めることによって、強固なネットワークを形成することができるようになっていきます。

現在、日本の地方自治体は、高齢化、国際化、情報化等の様々な課題に当

面しています。特に国際化については、姉妹都市交流を始めとして、文化学術交流、スポーツ交流等様々な国際交流事業を展開しております。

貴国との間では、姉妹都市交流が活発に行われており、姉妹都市縁組数は現在 123 にも及んでおります。これは全姉妹都市縁組数の 25% を占めており、貴国とは今後ますます地方団体レベルでの交流が進むものと思います。

自治大学校は、EROPA (Eastern Regional Organization for Public Administration「行政に関するアジア・太平洋地域機関」) の地方行政センター (Local Government Centre) として様々な活動を行っております。特に、アジア地域の地方行政関係幹部公務員に対する研修は、昭和 39 (1964) 年から平成 2 (1990) 年迄に 26 回実施され、37 ケ国から 305 名を受け入れております。貴国からは、1988 年及び 1990 年にそれぞれ 1 名参加しております。今後なお一層のご参加をいただけることを希望いたします。

皆さんが、この視察を通じまして、日本の地方行政について理解していただけたら幸いに存じます。また、皆さんの訪問により、日中の地方団体間の友好関係がなお一層深まることを希望いたします。最後に、日本滞在中の皆さんのご健康をお祈りいたしまして歓迎の挨拶といたします。

(2) 東京都中央卸売市場築地市場参観

10 月 15 日 (月) 5 : 27 ~ 7 : 31

説明案内 : 大野俊廣築地市場副場長

大野俊廣築地市場副場長説明 (会議室にて)

この市場は日本最大の市場であり、とくに魚市場としては世界一である (取扱数量の点で)。外国からも多く入っていて、全体の 30~40% が海外からの輸入物である。中国からはエビなどが入っており、中国は国別では 5 番目に多い。また出て行く先は東京だけでなく、関東の近県まで出ている。

当市場には、1日6万3,000人、自動車約2万3,000台が出入りしている。この市場は出来てから55年経ち、老朽化、狭隘化が著しいので、近く建て直す計画である。

年間の取扱実績は、水産物が78万トン、金額7,400億円で、住民1,100万人分の需要をまかなっている。青果物は年間48万トン、1,200億円で、250万人を養うことができる。

(5:40~7:07 現場視察の後、元の会議室に戻る。)

問 卸売市場はここだけか。

答 東京都内に11か所ある。このうち魚市場は3市場ある。魚についてはこの築地市場だけで90%を占める。野菜市場は9市場あり、この市場は都内全体の15%を取り扱っている。

問 需給の調和は、自然に行われているのか、それとも連絡し合って実現しているのか。

答 調整はしていない。自動的に行われている。

問 せりはほかの国でも行われているのか。

答 ほかの国ではないと思う。

問 市場におけるコミッション（販売手数料）は？

答 水産物は5.5%、野菜は8.5%、果物7%、食肉3.5%、花9.5%となっている。

問 せりをしている人は従業員か。

答 卸売会社の従業員だ。

問 給料は。

答 会社ごとに給料をきめている。一般的に、日本での給料は、若いうちは少なく、年をとると多くなる。

問 土地、建物は誰の所有か。

答 東京都のものだ。我々は営業の場を貸している。

問 東京都から補助金をもらっているか。

答 経費は使用料でまかなうことになっている。足りなくなったら都から補助してもらおう。

(3) 国分寺北部小学校参観

10月17日(水) 11:20~12:32

歓迎のことば

国分寺町立国分寺北部小学校

6年生 島村 佳寿美

中国省長代表団のみなさん、中国からようこそおいで下さいました。代表団のみなさんが、私達児童の学校生活を見てくださると聞き、とても楽しみにしていました。

中国は日本の26倍という大きな国で、10億という人々が生活をしているそうですね。

かつて日本は、中国にたくさんの方がわたり、学びました。空海もその中の1人です。空海は、私達のきょう土香川県に生まれた人で、弘法大師とも呼ばれ、中国にわたり、真言密教を知り、日本全国に広めました。鑑真は、中国から日本に来て、仏教を広めてくれました。

仏教もそうですが、私達にもっと身近なものに漢字があります。私達が毎日使っている漢字は中国からきたのです。それに、あの黒と白のかわいいパングも中国から来ました。

このようにして、中国と日本は、昔も今も、深い関係で結ばれているのです。

今回、中国という遠い所からお客様がいらっしゃり、私は、お話できることにとても感げきしています。これを機会に、中国のことをもっともっと知りたいと思います。

ごゆっくり学校をご覧下さい。

(ついで、児童側からプレゼントの贈呈があり、日本特有の花を描いた絵〔あさがお、さくら、もも、あやめ、ききょう、つばき、なんてん〕が各児童から各団員に渡された。)

白団長答礼挨拶（要旨）

尊敬する先生方、児童の皆さん、私たち中国省長代表団は、今日この学校を訪れて、皆さんから熱烈な歓迎を受けて、胸がいっぱいです。子供さんたちは皆とても可愛くて、思わずこの手で抱きたくなるほどです。ただいま、子供さんたちからすばらしいプレゼントを頂きました。これは大変貴重なものです。いずれも子供さんたちがご自分で作ったものなので、感銘深い。中国では、子供は国の花だと言われ、大切にされています。この学校は長い歴史（97年）を持っているとお聞きしました。校長先生、教頭先生とも大変すばらしい教育家だと思います。全国知事会は、私たちのために学校の授業を中断してまで歓迎式をしなくてもよい、と言われたそうですが、校長先生は、いやこの機会に中国と日本との関係について考えることは、国際理解を深めるため、子供たちにとってもよい体験だとして歓迎会を決めて下さったそうですが、大変ありがたいと思います。校長先生、各先生方、子供たちの皆さん、今日の熱烈歓迎に心から感謝します。

(土産品として、中国の書〔正月に飾るのに適したもの〕を贈る。)

(11:37 歓迎式終了)

このあと、校長応接室で川上校長から説明を聞いたのち、視聴覚教室、パソコン・コンピューター室、放送室、家庭科調理室、理科室、音楽室、体育館等を見学して授業風景を参観した。

(12:32 学校発)

(4) 三菱自動車工業（株）水島自動車製作所参観

10月18日（木）14：40～16：28

木村雄宗 所長挨拶（本部 201 会議室）

皆様のご来訪を心から歓迎申し上げます。当社は中国とは 1973 年から取引を頂いている。三菱自動車は 1945 年から自動車の製造を行っており、現在年間約 80 万台を作っている。本日は私どもの工場を十分ご見学願いたい。中日友好の発展と皆様のご成功を祈る。

児島 学 副所長説明

当工場は軽自動車と大型トラックを作っている世界でもユニークな工場である。従業員は 2 万 5,000 人、年間売上げは 2 兆円、680 億元である。当工場は三菱自動車の主力工場であり、最初は 1943 年三菱重工業航空機工場として発足した。1946 年小型の三輪トラックの製造を始めた。1987 年 10 月に自動車の生産台数が 1,000 万台に達した。敷地面積は 124 万平方メートル、従業員数は 5,700 人。

（このあと PR 用ビデオを見たのち、バスで乗用車工場、エンジン工場等を見学したが、次のような問答があった。）

問 これらのロボットはどこの製品か。

答 安川電機だ。

問 優秀なイタリアのフィアット社製のロボットをなぜ使わぬか。

答 フィアット製は値段が高いし、国産の方がメンテナンス、面倒見がよい。当社も 15 年位前はアメリカやヨーロッパ製のロボットを使っていた。

問 三菱の自動車工場がすぐれている所はどこか。

答 稼働率が高いことと、バラツキが少ないことだ。停止率を少なくすることにとくに努力している。

問 （エンジン工場で）機械はどここの製品か。

答 三菱重工の京都工場で作っている。

白団長お礼の挨拶（本部会議室）

三菱マークの車をはじめ日本製の車は中国でも沢山走っているが、実際にどのように作られているかは今日始めて見た。木村所長はじめ皆様の懇切なご説明は大変良い勉強になった。

私は、トラックとか自動車についてかつて専門的に勉強したことがあるので、少しはわかる。中国でも合弁している所を見たことがある。お宅の工場は、技術の面でも管理の面でも非常にハイレベルだと感じた。三菱と中国とは親しい関係を持っている。中国との交流が今後一層うまく行くことを祈っている。

木村先生はじめ皆様から心のこもったご歓待を頂き厚く御礼申し上げます。記念としてささやかな贈物を差し上げたい。

（本部建物の前で記念撮影をしたのち、16時28分、バスで工場をあとにした。）

6 資 料

(1) 団員の略歴

(中日友好協会提供)

- 団長 白 立忱 1941年1月1日生まれ、男性、遼寧省出身。
1964年瀋陽農学院卒。同年、遼寧省営口市農業機械研究所の技術者として勤務。1983年営口市長、遼寧省長助理。
1985年遼寧省長。1986年寧夏回族自治区人民政府主席。
- 団員 保 永康 1934年4月10日生まれ、男性、雲南省出身。
1948年雲南省富源県中等学校卒。1952年富源県政府で勤務。1964年曲靖地区共産主義青年団委員会の責任者。
1976年曲靖地区政府副秘書長。1985年雲南省人民政府副秘書長。1988年雲南省副省長。
- 団員 張 樹魁 1936年7月8日生まれ、男性、河北省出身。
1963年北京清華大学卒。1963年同大学で勤務。1970年貴州省凱里工場の技師。1984年電子工業部貴州管理局長。1985年貴州省副省長。
- 団員 卞 耀武 1936年4月4日生まれ、男性、江蘇省出身。
1960年上海社会大学院卒。1961年青海省水産局長。
1985年青海省人民政府副省長。
- 団員 吳 亦俠 1943年3月23日生まれ、男性、吉林省出身。
1968年吉林省農業大学卒。1969年吉林省九台県政府で勤務。1983年長春市副市長。1990年1月吉林省人民政府副省長。
- 秘書長 李鉄民 1945年3月16日生まれ、男性、黒竜江省出身。
1969年北京外国語学院卒。1973年日本駐在中国大使館、

大阪総領事館で勤務。1979 年 中日友好協会に転勤。
1988 年 中日友好協会 副秘書長。

団員 張 利利 1952 年 4 月 12 日 生まれ、女性、山西省出身。
中日友好協会 理事、同都市交流部 副部長。

随員 馬 玉華 1965 年 3 月 19 日 生まれ、女性、天津市出身。
中日友好協会 職員。

(2) 省レベル行政区画地図

写真あり

(注) 番号は標準配列順。

斜線部分が今回来日する

省長団の関係省・自治区

(3) 関係自治区、省の概要

(中日友好協会提供)

寧夏回族自治区

寧夏は中国の西北にあり、中国の五つの少数民族自治区の一つである。総面積は 6.64 万平方キロメートル、人口は 424 万、回族は約三分の一を占めている。ほかに漢民族、満族、モンゴル族などがある。

自治区政府の所在地は銀川市である。

寧夏は地相が南高北低である。北部の寧夏平野は“塞上江南”の美称を持ち、自治区の総面積の 25.9 パーセントを占めている。

寧夏は内陸にあり、温帯大陸性気候に属する。年平均気温は 5-9 度、四季がはっきりし、昼夜の温度差が大きい。

鉱物資源は豊かである。石炭の埋蔵量が全国第五番目で、品種がそろい、質もよろしい。“太西石炭”は国内のもっとも良い無煙石炭である。石膏分布も広く、その中、一等品が埋蔵量の半分以上を占めている。ほかにセメント石灰岩、カラス石英砂岩、石油、銅、鉄などの鉱物資源がある。黄河の水力資源も寧夏の重要な資源である。

工業は石油、電力、冶金、建築材料、化学工業、機械、電子、紡績、陶磁器、製紙などである。

主な農産物は水稻、小麦、西瓜、梨、葡萄、トマト、胡瓜などである。南の山地は森林、牧畜によろしい。森林の面積は 11.92 万ヘクタール、草原は 301 万ヘクタール、牧畜業と牧畜加工業の発展する道がきわめて広い。

特産品は枸杞、甘草、賀蘭石、小羊の毛皮、髪菜などがあり、寧夏の“五つの宝”と言われている。

名勝旧跡といえば、紀元五世紀に建てられた銀川海宝塔と西夏の時代の銀川承天塔、西夏王陵があり、国家重要文化財の須弥山石窟は敦煌、雲岡、竜

門石窟と同列できる石窟芸術の重要な一つで、また、秦、明時代の長城などもある。

寧夏は中国のイスラム教徒の都である。回族はここに住みついでからもう600年以上の歴史を持っている。いま、回族の人数は約140万で、イスラム教を信じている。自治区には大、小清真寺が2,000余りあり、有名なのは銀川中大寺、南関清真寺などである。銀川は大学、中、小学校のほかにイスラム教学院が一カ所ある。

雲 南 省

雲南省は中国西南地方にある。面積は39.4平方キロメートル、山地は84パーセントを占めている。西はビルマ、南はラオスとベトナムに連結している。雲南省は二つの市、七つの地区、八つの民族自治州に分けられている。人口は3,362万。

省都は昆明市である。

雲南省は亜熱帯気候に属する。昆明市は気候が穏やかで四季とも春の如しと言われている。

雲南省は自然資源が豊かで、植物、動物、金属の王国と言われている。タバコ、砂糖、茶、ゴム、コーヒーなど経済作物は全国でも重要な地位を占めている。動物の種類も多く、記録のある獣類は230あまりで、全国の獣類の55パーセントを占めている。金糸猿、孔雀など珍しい動物もいる。

雲南省の地下資源もたいへん豊かである。鉛、亜鉛の埋蔵量は全国第1位であり、すず、銅、白金、ニッケル、アンチモン、銀、水銀などの埋蔵量も全国で順位が上位にある。石炭の埋蔵量は167億トンである。そのうち、第三紀褐炭の埋蔵量は128億トンであり、全国のトップにある。水力資源の貯蔵量は1億キロワットで全国の水力資源貯蔵量の20パーセントを占めている。そのうち開発され、利用されているのは770万キロワットで、全国で3番目にな

っている。

鉄道と自動車道路は発達している。民間航空は昆明から北京、上海、広州、西安、長沙、南寧、成都、香港などへの定期便があり、ラングーンへの国際便もある。

省内では大学 26 校、教育学院は 7 校、労働者大学は 14 校、専門学校は 111 校、技術労働者を養成する学校は 65 校、中学校は 1,862 校、小学校は 59,496 校である。小学校入学率は 93.1 パーセントである。

雲南省の名勝旧跡はたくさんあり、景色が美しい。昆明市、大理市はわが国の文化的、歴史的に有名な都市である。省内には、大理崇聖寺三塔、大理南沼太和城遺跡、劍川石鐘、石窟など 10 カ所の国家重要な文物とされている所と世界の八つの珍しい景色の一つと言われる石林と“緑の真珠”と言われるシーサンバンナなどがある。

青海省

青海省は中国の西北、青蔵高原の東北にある。面積は 72 万平方キロで、全国の十三分の一を占める。人口はおよそ 389 万余りで、わが国では、人口密度の一番小さな省の一つである。漢民族のほか、主な少数民族はチベット族、回族、モンゴル族、満族などである。

省都は西寧市である。

青海省は高原大陸性の気候に属するので、気温が低く、昼夜の温度差が大きい。降水量は 360－530 ミリぐらいである。中国第三番目の内陸盆地－チャイダム盆地もここにある。省内には湖が 230 カ所散在し、その中にはわが国最大の内陸湖－青海湖（海拔 3,200 メートル）も含まれる。

青海省には豊かな森林、鉱物、野生動物、水資源などがある。森林の被覆する面積は 180 万ヘクタール、利用できる草原は 3,300 万余ヘクタール、淡水湖の面積は 1,177 平方キロあまりで、塩水湖（青海湖）の面積は 4,500

平方キロ余りで、これは青海省の重要な漁業基地である。野生動物が 250 余りおり、鳥類は全国の六分の一を占める。鉱物資源では塩化カリウム、塩化リチウム、塩化ナトリウム、アスベスト、石英石などの十種類の埋蔵量は全国で一番目になっている。塩類の資源が豊かでさまざまである。埋蔵量は 500 億トン余りに及び、世界中の人口が一万年の食用に足りるほどある。

工業は紡績、冶金、石炭、石油、電力、化学工業、機械、電子などの部門がある。農作物は小麦、裸麦、そらまめ、じゃがいも、菜種、リンゴ、梨などである。

青海省の牧畜業は発達していて、全国の五つの大牧場の一つである。

省内は、西寧市を中心として、各州と各県の間自動車道路網で繋がっている。鉄道、民間航空もある程度発展しており、北京、西安などの大都市と直通できる。

文化、教育、衛生事業も近年大きな発展をとげた。大学及び専門学校は 7 校あり、高校及び中等学校は 479 校あり、小学校は 4,082 校ある。

青海省には名勝旧跡がたくさんある。タール寺はわが国で有名なラマ教の格魯教の六つの大きい寺の一つである。ほかに西寧東関清真寺があり、これはわが国の西北地区における一番大きなイスラムの寺院の一つである。

青海湖はよく知られている観光地である。その中、一番壮観なのは鳥島で、卵の島とも言われている。五月になると、島はほとんど卵の世界になる。

青海省はお土産が豊かである。西寧毛、ヤクの皮、タルバガンの皮、冬虫草、枸杞の実、麝香などが国内外から高く評価され、青海省の輸出品の 80 パーセント以上を占めている。

貴 州 省

貴州省は中国西南地方にある。面積は 17.4 万平方キロメートル、人口は 2,900 万あまり。47 の民族があり、苗、布依、同、彝、回族などである。

省都は貴陽市である。

貴州省の耕地面積は 187 万ヘクタールあり、全省土地面積の 11 パーセントを占めている。森林面積は 253 万ヘクタールで、被覆率は 14.5 パーセントである。

貴州省は亜熱帯湿潤季節風気候に属する。一年の気温は平均 14－16℃、年間の降水量は 900－1,500 ミリ、農作物は年に 2 毛作か 3 毛作である。

地下資源は豊かである。水銀、アルミニウム、燐、石炭、アンチモン、鉛など 60 種類ある。そのうち、水銀、化学肥料用のケイ素、光学水晶などの埋蔵量は全国でトップである。また燐、ヨウ素、鉛などの埋蔵量も全国で順位が上位にある。

主な農作物は水稻、小麦、とうもろこし、薯類などである。経済作物はタバコ、菜種、茶などである。薬用作物は 3,000 種類に近い。貴州省は全国四つの薬草産地の一つである。そのうち、天麻、杜仲、黄連、黄草、呉萸は貴州省の“五大名薬”である。

貴州省はエネルギー資源が豊富である。石炭の埋蔵量は 488.63 億トンで、全国で第 4 番目になっている。水力資源の貯蔵量は 1,874 キロワットで、全国で第 6 番目になっている。

工業は機械、電子、冶金、電力、石炭、食品加工などの部門がある。そのうち、アルミニウム塊の生産高は全国の 19 パーセントを占めている。鉄道、自動車道、内河輸送、航空輸送なども大きな発展をとげた。貴陽市を中心として、四川省、雲南省、湖南省、広西省と全国主な都市及び省内の各州、市、地方、県、区、郷との交通輸送網が形成されている。

全省では大学が 22 校、中学校 1,483 校、小学校 26,849 校がある。各種類の学校では民族大学、民族中学校、民族小学校が 168 校あり、少数民族の在学者数は約 120 万余りである。

貴州省は風景が美しい。貴陽市から 150 キロ離れた黄果樹滝は全国の重要

な風景の名勝旧跡保護区の一つである。安順竜宮は、繋がった真珠の形をした岩溶洞湖、竜門地下滝、天池、地下湖と雲山石林などによって形成され、珍しい景色はえも言われぬほど美しい。また織金洞、梵浄山などの自然保護区と弘福寺、安順文廟などの名勝旧跡及び遵義会議の旧跡、婁山関などの現代革命景勝地がある。

特産物では全世界に知られている茅台酒と = 染製品などがある。

吉林省

吉林省は中国東北地方にあり、面積は 18.7 万平方キロメートル、人口は 2,346 万、省都は長春市である。

吉林省は季節風温帯大陸性気候に属し、一年の気温は平均 20 度ぐらい。

吉林省は中国の食糧の生産基地であり、中国の大豆と東北水稲の主な産地でもある。主な農産物はとうもろこし、大豆、水稲、コーリャン、粟、小麦などである。経済作物は主に甜菜、搾油作物、タバコ、麻類などで、その中の甜菜は全国有数の産地の一つである。

全省の森林の面積は 677 万ヘクタールで、中国の重要な森林地帯の一つであり、全国で第三番目になっている。

たいへん有名な“東北三宝”（人参、ミンクの皮、鹿の角）は吉林省の貴重な特産品。その中の人参と鹿の角の生産高はいずれも全国の首位になっている。

鉱物資源は主に鉄、石炭、銅、亜鉛、石油など 70 種類あまりある。

工業は自動車、化学工業、汽車車両、トラクター、炭素製品、木材、製紙、トラックなどある。その中の炭素製品の生産高は全国第一位になっている。全国で初めて自動車を生産した工場—長春第一トラック製造工場—は長春市にある。

省内の交通事業は発達し、鉄道の開通キロ数は 3,200 キロメートルであり、自動車道路の開通キロ数は 20,000 キロメートルに達している。航空事業の発展もわりあい早く、長春から北京、上海、広州などへの定期便がある。

吉林省は今、大学が 42 校あり、中等専門学校、高等学校、中学校、小学校などが都市と農村にあまねく存在している。当省の文化事業も発達し、芸術団体が 100 余りあり、全国的に有名な長春映画製作所はここにある。

吉林省は観光資源が豊かである。有名な長白山は氣勢が壮観であり、景色も美しい。長白山の頂きにある天池はわが国の最高の火口湖であり、海拔は 2,194 メートル。長白山には豊かな自然資源があるので、1980 年国連の人と生物圏保護地区に指定された。このほか松花湖、高句麗遺跡、渤海遺跡などの名勝旧跡がある。

(4) 全国知事会と中日友好協会との往復文書

知 渉 発 第 5 号

1987 年 6 月 20 日

中国日本友好協会
会長 孫 平 化 閣 下

全 国 知 事 会
会長 鈴 木 俊 一

中国省長代表団の招請について

さる 1986 年 5 月に第 3 次全国知事会訪中代表団が貴国を訪問いたしました際は、貴会並びに訪問省・市の関係者各位から格別のご配慮・ご歓待を賜りましたことを心から感謝いたしております。

日中両国の地方政府間の友好交流をすすめる、地方行政に関する情報・経験の交換を行うことは、両国にとってまことに有意義な事業であると考えます。

本会は、1988 年の 4 月～5 月又は 10 月～11 月のうちご都合のよい時期に、貴国省長代表団を日本へご招待申し上げたいと存じます。

招待日数は 10 名（随員を含む。）とし、構成員としては、省、自治区及び直轄市の人民政府の長の中から選ばれることを期待いたします。

また、代表団の日本における滞在期間は約 2 週間とし、滞在費（宿泊費、食費及び国内交通費）は本会において負担いたします。

謹んで閣下のご健勝と、貴会のご発展を心からお祈り申し上げます。

知 渉 発 第 24 号

1990 年 3 月 30 日

中国日本友好協会
会長 孫 平 化 閣 下

全 国 知 事 会
会長 鈴 木 俊 一

貴国省長代表団の招聘について

第 3 次の貴国省長代表団につきましては、1987 年 6 月 20 日付書簡で 1988 年中のご来日をご招待申し上げていたところではありますが、もし本年秋にお越し頂けるようならご歓迎申し上げたいと存じますので、改めてご連絡申し上げます。

なお、本年は重要な国内行事により 11 月の受入れが困難となる事情がありますので、10 月第 2 週内のご到着が好都合と考えております。

謹んで閣下のご健勝と貴会のご発展を心からお祈り申し上げます。

日本全国知事会会長

鈴木俊一先生

1990年3月30日付お手紙拝受致しました。

貴会と我が会との友好協力関係が日増しに発展していることは、大変嬉しいことです。中国省長代表団訪日の件が、様々の理由により再三にわたり遅れてしまい、本当に申し訳ありませんでした。さて、我が会は貴会のご要請に応じ、第三次中国省長代表団一行8名を、1990年10月中旬、日本訪問のため派遣することを、ようやく決定しました。

名簿や具体的事務については、後日改めてお知らせします。

貴知事会のご親切な招請に対して、重ねてお礼申し上げます。

では、皆様のご健勝をお祈り致します。

中日友好協会会長

孫平化

1990年7月13日

日本全国知事会

事務総長 砂子田隆先生

深秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の日本訪問に際しましては、先生をはじめ全国知事会の諸先生方の心温まる歓迎と行き届いたご配慮を賜り、思い出深い交流の旅とすることが出来ました。団員一同は感謝と感激の気持ちで一杯です。日本滞在は短期間のものでしたが、お蔭さまで、貴重な勉強の機会として、非常に愉快的な毎日を過ごさせて頂きました。代表団は行く先々で熱烈的な歓迎と心のこもったご款待を頂き、深い感銘を受けました。各県で、行政、経済、文化、教

育等を視察し、お国を代表出来る素晴らしい名所旧跡と芸術品のような食文化を見学し、味わうことが出来ました。代表団一同は所期の目的を達成して、とても満足しております。我々は中国に帰って、それぞれに自分のポストに戻りますが、勉強させて頂いたものには、実際の仕事の中に生かせるものがきっとあると信じます。貴会の特段のご配慮と各地で受けました熱情溢れるおもてなしに対して、重ねて深く感謝申し上げます。今後、両国の友好協力関係が一層深まって行くことを祈念致しましてお礼のご挨拶と致します。

末筆ながら、日増しに寒くなりますが、どうかお身体ご自愛の上、益々のご活躍とご健康を心からお祈り致します。 敬具

一九九〇年十月二十七日

中国第三回省長代表団一同